



平成 17 年 8 月 5 日
日本原子力発電株式会社

石綿に関する調査結果について

当社は、石綿に関する労災認定状況と、建物及び設備における石綿使用状況について別添資料のとおり調査結果を取りまとめましたのでお知らせ致します。

なお、本日、石綿による健康被害に関する相談窓口を当社本店内に設置致しました。

< 添付資料 >

- (1) 石綿に関する労災認定状況調査結果
- (2) 建物及び設備における石綿使用状況

以 上

2005年8月3日現在

石綿に関する労災認定状況調査結果

【日本原電】

	人数	事業場	備考
死 亡	(0) 0 名	—	
療養中	(0) 0 名	—	

【グループ会社(3社)】

	人数	事業場	備考
死 亡	(0) 0 名	—	
療養中	(0) 0 名	—	

()は元従業員再掲

(参考) 労災申請中のもの

【日本原電】

	人数
死 亡	(0) 0 名
療養中	(0) 0 名

【グループ会社(3社)】

	人数
死 亡	(0) 0 名
療養中	(1) 1 名

()は元従業員再掲

以 上

建物及び設備における石綿使用状況

平成17年8月3日現在

対 象		使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）
石綿を含有する吹付け		建屋の防音材・断熱材として使用。	・ 自社建物：2棟（東2；1棟、敦1；1棟） ・ 使用箇所を把握し、1棟には吹き付け材の封じ込め・囲い込み対策を実施済。（敦1） ・ 未対策箇所は1棟の一部の立入頻度の少ない階段室天井であり、定期点検にて状態を監視している。（東2）	未対策の部分については、早期に撤去する。
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用	・ H16.10以前に使用された建材に含まれていると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。 ; 東海発電所の保温材 石綿含有製品残数：約700m ³
	保温材	発電設備	・ 石綿含有製品残数： 約2,100m³（全数の約4割） 東2；約1,300m³ 敦1；約690m³ 敦2；約110m³	
	シール材・ジョイントシート	発電設備	・ 石綿含有製品残数： 約16.4万個（全数の約9割） 東2；約6.8万個 敦1；約4.1万個 敦2；約5.5万個 ・ 石綿含有製品残数の内 現状で代替化困難：なし	成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。 尚、重要設備で高温・高圧箇所の仕様を変更する際には、その都度代替の技術検討を行い健全性を確認する。 ; 東海発電所のシール材・ジョイントシート 石綿含有製品残数：約1.8万個

東2；東海第二発電所、敦1；敦賀発電所1号機、敦2；敦賀発電所2号機

；東海発電所は廃止措置中であるため、現状欄には含めていない。